# U-mitte 年次報告書を読む会 開催レポート

## ～　つながりと学びが育んだ 2024 年度の歩み　～

2024 年 10 月 13 日（月・祝）、オンラインにて「U-mitte 年次報告書を読む会」を開催しました。15 名が参加し、報告書を手に取りながら 1 年間の活動を振り返りました。

冒頭、進行を務めた（木村）さんは**「報告書は活動の“終わり”ではなく、つながりを深める機会」**と語り、寄附者や地域の皆さんと成果を共有する意義を紹介しました。続いて（本間）代表からは、**「支援を特別なものとしてではなく、日常のやさしい関わりとして伝えたい」**という想いが語られました。

また、2024 年度は ICT を活用した新たな試みも進展しました。iPad（指伝話）や脳波センサー“ネコミミ”などのツールを活用し、ことばにならない感情や意思を可視化する支援に挑戦。参加者からは「テクノロジーが人の想いをつなぐ形として生きている」との感想も寄せられました。

（本間）代表は、支援現場のリアルを伝える意義を強調しました。
最後に**「U-mitte の活動は、多くの方の共感と協力の輪の中で成り立っています」**と感謝を述べ、次年度への展望を共有しました。

今回の「読む会」は、報告書を“読む”だけでなく、そこに込められた想いを“語り合う”時間となりました。寄附やボランティアを通じて支えてくださる皆さまに、改めて感謝申し上げます。U-mitte はこれからも、「共に歩む」社会づくりを進めていきます。

いけプロ＠とかち 事務局
（2024 年次報告書を読む会）